



逆瀬台小学校区
10,000人のまちづくり

ゆずり葉だより

編集・発行 / 逆瀬台小学校区まちづくり協議会 (ゆずりはコミュニティ) 事務局・広報 (発行部数) 4,200部
〈住所〉 〒665-0024 宝塚市逆瀬台6丁目1番1号 宝塚市立逆瀬台小学校内
〈Eメール〉 yuzurihacom@a.zaq.jp (連絡先) 石谷 TEL 20-5054
〈掲示板〉 http://8507.teacup.com/yuzuriha/bbs (自由投稿版)
〈ブログ〉 http://www.voluntary.jp/weblog/myblog/230
〈ホームページ〉 http://yzrh.exblog.jp/ (TEL/FAX) 0797-73-8839

健康で
明るく
楽しい
まちづくり



ゆずり葉コミュニティ
ブログ・QRコード

新春第102号



新年あけましておめでとうございます。



令和3年度
新年のご挨拶

ゆずり葉コミュニティ 会長 石谷清明

皆様、明けましておめでとうございます。令和3年を迎え、今年も新たな気持ちで地域の皆様と共に、当地域に『住んで良かった、これからは住み続けたい街』にしていくために、5役をはじめ、役員が一丸となり、努力させて頂く所存でございます。どうかよろしくお願いいたします。

さて、昨年は、コロナ禍に始まり、コロナ禍に終わった1年でした。当地域の会議も、4月の定時総会、6月の役員会を surfaces 表決にせざるを得ませんでした。

その後、逆瀬台小学校コミュニティルームの使用を自粛する中、8月2日(日)に当地域最大収容の逆瀬川グリーンハイツ集会所をお借りし、2月以来半年ぶりの役員会を開催いたしました。

そして、10月4日(日)には、令和2年度「福祉ネットワーク会議」を開催いたしました。内容は、「見守り」「居場所づくり」です。非常に活発な話し合いが行われ、大きな成果を得ることができ

した。(本誌2ページ目参照)

今年も、各自が引き続き、マスク着用、手洗い、うがい、そして三密を避け、自助に努めることにより、早く普通の日常を皆で取り戻すことができるよう努力しましょう。そして、すべてのイベント活動が再開できるようお願いいたします。

最後に、住民の皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。



ゆずり葉コミュニティ相談役 井篔嘩雄

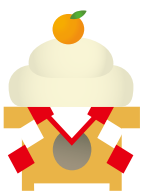
ゆずり葉コミュニティの皆様新年明けましてお目出とうございます。私は相談役の井篔と申します。逆瀬台六丁目に住んでおります。

顧みますと、私は平成七年に逆瀬台小学校区街づくり協議会(ゆずり葉コミュニティ)の設立に際し、逆瀬台自治会から選出の役員として加わり、その年の十月一日には、今号で102号を数えます。歴史ある「ゆずり葉だより」の創刊号を三人の仲間達と一緒にあれこれ苦労して発刊致しました。

あれから二十五年いろいろな形でゆずり葉コミュニティの変遷に関わり、特に平成二十年に新しい会則の下、新しい体制でコミュニティが再出発して以降は、三代の会長さんと共に、相談役として微力ながらお手伝いさせてもらっています。

ゆずり葉コミュニティ設立当初は六十二歳でありました私も、今年八十七歳と名実共に後期高齢者となりましたが、コミュニティからのご要請があり、私ごととき少しでもお役に立てることがあれば、体力と気力の続く限り頑張つて参りたいものと考えております。

新しい年頭にあたり会員の皆様方のご多幸とゆずり葉コミュニティの益々のご隆盛を心から祈念してご挨拶いたします。



ゆずり葉コミュニティ事務局長 濱崎史孝

ゆずり葉コミュニティにお住いの皆様、新年あけましておめでとうございます。昨年、事務局長に就任しました逆瀬川グリーンハイツ自治会長の濱崎史孝です。昨年は突然新型コロナウイルス感染症が中国武漢から発生し、瞬く間に世界中に拡散され、終息を願う我々をあざ笑うが如く、1次2次3次と季節単位で感染者数の増加や死亡者数が報道され、2020東京オリンピックを始め世界中であらゆる行事の活動が停止状況でした。

我々のコミュニティも、まともな活動が出来ない状況で1年が過ぎてしまいました。が、地域住民の皆様のご要望や提案などの実現に向かって取り組みたいと考えております。

私が手掛けた過去の具体的事例(宝塚市内全域)は、逆瀬台五丁目・青葉台一丁目蔵人台共同墓地交差点の改善、県道宝塚・明石(16号線)西山橋詰信号から西山橋阪急バス停までの側溝改善による歩道、及び阪急逆瀬川駅・コープガード下、側溝の拡幅。県道114号・県道337号宝塚市役所前交差点の歩道橋の撤去と道路拡幅。更に県道米谷・昆陽・尼崎線(142号線)国府橋欄干改修工事。市立宝塚小学校南(市道561号)の開通並びに信号機の設置、旧国道176号線宝塚福祉コミュニティプラザ前信号機の設置などを行いました。

現在私たちのゆずり葉コミュニティ内の交通安全確保を目的として、県道16号線・ゆずり葉緑地から西宮ゴルフクラブ間にメロディ・ロード設置に依る速度減速化を提言中です。皆様のご協力を頂き早期実現化を求めて行きたいと考えています。

更にゆずり葉コミュニティの活性化に對する要望や改善点などを提案頂ければ可能な限り実現化したいと思っております。宜しくお願い致します。

2021年が益々地域住民の皆様にとつてより良い年になります事をお祈り申し上げます。

ゆずり葉コミュニティ活動支援局長 古泉義太郎

新年明けましてお目出度う御座います。年始に志向する事は、小生は、当逆瀬台地に居を構え44年経過しますが、病に見舞われる事なく頗る健康な日々を過す事が出来、この地が終の住家となる事でしょう。

緑豊かな六甲連山、武庫川・逆瀬川の清流が織りなす空間に2つのゴルフ場が開かれ、オゾン充れる住環境に加え、摂津平野を見降す景観は他に比類のない恵まれた環境であると認識させられました。斯様な(かような)環境下で、高齢化率では宝塚のトップを記録しながら、要介護・支援率は18%の低率を維持され健康寿命の向上に繋がっているのでは。この好ましい状況の継続が望まれる中で、コロナウイルス感染の拡がり地域交流・ふれあいの機会が自粛要請により実施が減少し、当地域に築かれた健康寿命の低下が懸念されます。

このマスク着用、三密防止の予防策は、コロナワクチンや予防薬が提供される迄辛抱強く継続せざるを得ないのでしょう。悲観的な話となりましたが、先日の内閣発足による公約として、規制改革とデジタル化の推進が掲げられました。安倍内閣では、経済力の進展が推進されましたが、GNP2%の伸びが実現せず一般家庭の懐具合の向上につながらなかった状況が新内閣発足の政権公約は新たな時代を切り開く期待を抱く事が見込めるのではないのでしょうか。規制改革とデジタル化推進により、当地の坂道克服の自動自転車、少子高齢化による人手不足を解消するAIやロボットの提供が促進されれば、高齢化の肉体の衰えを補填してくれる事は可能でしょう。



高齢化社会の到来は、外国にも訪れませんが我が国で推進されたデジタル化技術は外国にも適用され、戦後の高成長を支えた時代の再来を迎える事でしょう。是非、新たな成長が訪れる光景を眺める事が出来る迄生存したいものと願っています。